

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員 古川 英子

実施月日	令和5年7月4日(火)		
実施時間	13時30分～14時45分		
調査先	陸上自衛隊 木更津駐屯地		
調査所在	陸上自衛隊		
調査の目的	嬉野市議会防衛議員連盟による木更津駐屯地視察及び意見交換		
調査先担当者	輸送航空隊 各部隊長		
内容・結果等	目的:佐賀県にオスプレイの配備が決まり、現在配備されている木更津駐屯地の配置の現状やオスプレイ作動時の音量等の把握を行う。		
	内容:オスプレイ(V-22)は現在14機配備され、最終的には17機配備の予定である。オスプレイは早い巡行速度と長い航続距離を有し日本の島嶼防衛能力を強化する上での不可欠な装備品であり、災害活動や離島における救急輸送にも有益である。		
	まとめ・感想:オスプレイの発する音量は通常の輸送ヘリと大差はないと感じた。		
	現在の国際状況から島嶼部への侵攻に対処するための配置と説明を受けた。ロシアのウクライナ侵攻や中国・北朝鮮の日本海域侵入等考えると、他国の出来事ではないと思		
	った佐賀へのオスプレイの配備に伴い700人～800人の隊員が移動してくると説明を受け		
	た。少しでも嬉野へ移住してもらい、人口増に繋がらないかと思った。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費・宿泊費	祐徳旅行株式会社、JR東日本他	67,040円
	合計		67,040円

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員 古川 英子

実施月日	令和5年7月5日(水)		
実施時間	10時00分～11時00分		
調査先	防衛省市ヶ谷庁舎		
調査所在	防衛省市ヶ谷庁舎		
調査の目的	嬉野市議会防衛議員連盟と防衛省の意見交換		
調査先担当者	北尾大臣官房審議官・石峰防衛計画課長・菊池運用調整参事官・川端施設計画課班長		
内容・結果等	防衛省より説明		
	(1)佐賀配備に係る現状		
	(2)大野原演習場との関連		
	まとめ・感想:		
	佐賀配備の目的等は昨日の木更津駐屯地で説明を受けた内容であった。		
	大野原演習場利用により、佐賀から嬉野経由での陸路での車両の運用があれば大野原線の改良等が可能ではないかと思ひ大野原演習場でのオスプレイの利用や飛行ルートを確認したが、現時点では飛行ルート及び大野原演習場での利用も未確定状況であるため返答できないとのことだった。オスプレイが早い巡行速度と長い航続距離を有するために九州・沖縄の全域での訓練が可能なためなかなか難しいかと思われる。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	合計		0

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること